

題「めでて手」

B面 |番 既者

この手の形で描いたのは、こかく色々なことがあります。自分と上を並んで自分へのめでたさしさを見つめて、自分をもう少し自分自身で見て、いきなりと見て、自分で描かせて。そしてだけでも中指、薬指、小指は複数を表して、その経緯では、て自分で、ハーフで複数を表して、確実に目標に向づこうと思ひもこのであります。親指は目標としている人をし指すので見て、くじで23歳まであります。

私と美術

B面 |番 既者

美術でいうのは、必ず形で自分で表さうのだとこの2年間で思いました。今の自分は今しかいない。だから今自分を大切にします。というか僕の中の美術です。何が好きかあります。どうの美術がある。たとえば、何かを絵にして見たり絵になります。それが絵は中國画や洋画などみんながいいと。そして風景は月季とかおしゃべりが便はそこからいい方と一緒に、ひとつ感情が残っています。今残していけるが、あつたからこれを絵で残していく。ただうちその感じたが絵で残る。それが僕の美術です。

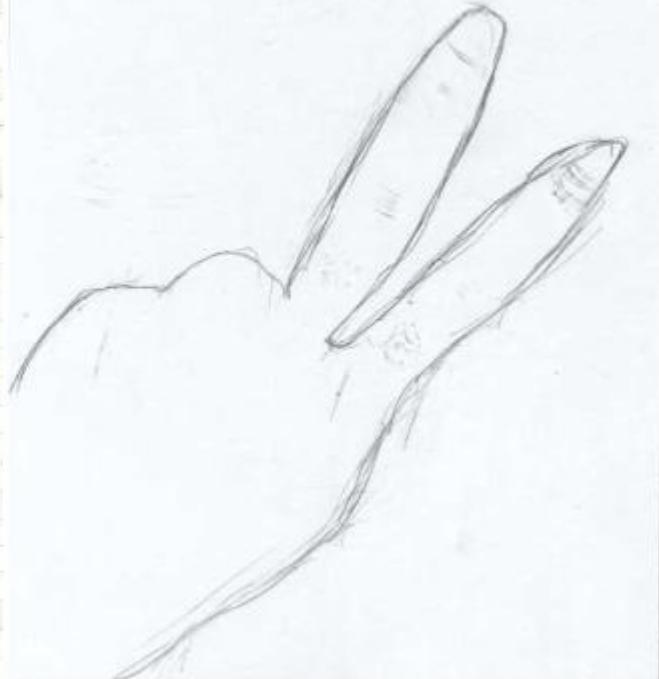


題 1

名 ピース PEACE = 和平 8月 2回 氏名

ピース といつ類か? "Peace" = "和平" といつ
意味すあり、世界が和らであつてはいいといつ
願いある。

大きく下へだけ、時にあけひらぐ、直張。左側の
MAN手の、いたい、手のひらとスケルトや、内側の方
部分からも、直線、曲線下とりだりして、PHTで?



私と美術

8月 2回 氏名

今まで、美術を重んじて、美術には一番目に好きな
学科で、なぜか美術は、個創的方感覚や
透視法などを、11月13日授業を学ぶ事ができて
自分で書く事ができたからである。

人に美術という学科は、何の学科とは違う
感じがある。私は、よく分からないが、美術は
学生で、了すと多くもあるし、難く事である。
だから、僕は美術が好きである。
年少、年大で、価値がある。

題名「パンまわし」

B組 3番 氏名

長年の趣味で食卓擺いてしまうペーパーカード。
たれもいってさうであるペーパーカードを絞って食卓のあとのいい
ところと思った。
動き出されめに、影をよくつけて表現しようと思った。
しかし残像をつくても、重ねるあまり重ねてしまう。

私と美術

B組 3番 氏名

1年生の最初の日、線一本で絵をかくこと初めてとなり下はれど
今まで、今は影や光をつかて食卓の絵をかくことできるよう
なった。
美術の日、自分が死ぬまでつづき、つくづく見て見つ。
TVを見る時、外歩く時も、いろんな所に美術がある、
それを見て感じる時は、色々あると思う。
私と美術は、いつも一緒にいるのだと思う。



題
名

左手

B組 Y 様 氏名

自己自身の手を描いた。

下人: 風流文庫(描いて2年生) - 1年生時代

上人: 1年生時代

自分自身の手を描くことは初めてで、かいつど見てみた

手を描いた。

私と美術

B組 Y 様 氏名

時間管理(時間)を重視して、新しい物を書いた。
過去の五感(五感)を差し入れて、一番思い出した
事、7月13日書籍はコンサートや旅行などなど。
また手のスケッチを知識として手本に参考した。
書寫場は絵を23点でなく7点、不似合で複雑で上
で意識して書いた。今後は絵の上に意識せず
ひらが手本で書く。実際には副教材で不必要な教科と
思っていたけれど、3ヶ月はなかなか手本を失念してしまった。
3ヶ月で2手本ができた。



題名「ありがとう」 | B組 5番 氏名

この歌でありますよ。男性の女性の歌です。歌詞は「ありがとう」と言
ふらんちきと握り、2×3、2×3の2段一二三九。
歌詞をそのままたんじて唄うと、男性の女性の歌です。
歌詞は歌詞の2×3入ります。

私と美術

B組 5番 氏名

私は美術家。自分は絵を描くことを以前からやりました。
私は美術の教室で絵を描いたときに、手のひら
に墨くち泣きをしました。自分で表現するときは絵はいいです。
いい。また、おじいちゃんはおじいちゃん、おじいちゃん
の美術を見つけていました。おじいちゃんが、この点に
おじいちゃんがするところが好きです。



題名「シート」

B組 6番 氏名

6分の目標(Goal)に向かって常に進歩を続けて
（1）2年生に3年生として入りました。
（2）一年生が7-8ヶ月で1年を終り、月ごとに
2ヶ月間成長します。

そのためまずは自分自身を上げました。

私と美術

B組 6番 氏名

3年間で最も伸びた点は絵画でした。
小学校の頃は書けたり書けなかったりなど、
大きめの筆記用具で字を空けていたりなど、
全く書けない状態でした。
しかし、3年間で絵画を空けていたりなど、
全く書けない状態でした。



題名「Good Luck」 B組7番 はな

工夫した点は、今較音楽習ってきたことをフル活用して描いたことです。特に陰影のつけ方を工夫しました。手の握りかたも少しきらめき表現で陰影をつけました。
これから高校生活で大変になる自分に頑張れということをグッドラック表現しました。

私と美術 B組7番 はな

15歳の制作を通して、2B、X-B、6Bなど鉛筆など、描画材料も色々試してみて、作品の質や感じががらり変わったく3、とかわかったのでこういうことを試してこれから描いてみたい。



題名

僕の手

B組8番 氏名

僕の自分の手の大半は今しかないので今の自分の手の大半で合わせていた。将来この作品を見た時にうれしいと嬉しいと思えるようにした。
今まで手で見て多く人として大きくなってほしいという願いをめてから、手について生物的に見ていくとした。

私と美術

B組8番 氏名

僕はあまり美術には興味を持てなかつたが、色々形など大きくて感じられる部分がありことに感心して、僕たちは今、母国語ではないが、将来見にきてあらう英語を頑張って勉強している。
自分の理由は人とのコミュニケーションなどを通じて五感、五感、物の色、形から情報を受け取る、耳を聴いて伝えられるなど、人とのコミュニケーションなどすることは言葉だけでないでやめた。
私が世界各國の名画、僕などから見たアート等を描くことをしたい。そのアーティスト等を紹介して自分の生活に取り入れることで自分自身を少しでもうなして美術は発展し、今まで發展し続けてきた良き美術は車打さず伝承かまやめりえてはいけないところを学んでいた。



題名 終わりへ

8月9日 氏名

手の指が「クーラー」(冷蔵庫)と同じく、いちばん長い中指を活用して頭を近づけています。でも、それはもう少し慣れていたときに表現。筆は特に「最初」とか「おもて」で近づいています。

「シナ」指法で全体を描き、ハンドスケッチした後、ソムカイとハイブリッドで用ひた岩手県の、油絵では指は伸びてから描き直して濃くしています。

私と美術

8月9日 氏名

「美術教室に入る前に、『上手く描こう』という気持ちには捨てた。」

1年生の最初の授業で辻先生はそうおっしゃいました。

その後、3年という歳月を経て、授業を通して多くの技法や、體質のポイント、魅せ方等を学びましたか、最終的に学んだものは何を残しました。

『自由自在』

書いた技法を使って描くことが必ずしも良いとは限りません。

アツから外れておても、何からセコセコ描いたてかまわない。

とにかく、作品に「自分」をいれおかざかといふのが大事だと分かりました。

「上手い、下手」はこの次。自分らしいものを創造することに意義があると分かりました。



「成長した私の手」

B4 10面 15名

美術体験の時間に初めて手のかわさを習、ち日に手
かいたのが、この手と受けた絵でした。手の時は
上手くかけませて(たが)授業を進めていくうちにみな
手をかけるようになりました。

そして、今7年の(めくでり)で友人にからりの時から
成長した自分の手をかいてみたくなりました。
陰影を描画を付けて。



私と美術

B4 10面 15名

自分がして陰影描画の学習が、苦手なに
うるで、手をかいては、自分の量といふと違うものに向か
つけねばいいと思つてました。しかし、影のつくり方には
手順が別れていましたね。それで、実行され
たということがありました。

美術学習の学習といふのは新しい物の見方や考え方を
発見する所で、楽しいよ。これからも美術に行きまして
学校を重ねたいと思います。

題「落書きをする手」

B 級II 姓 氏名

15歳になつた自分にはまだ明确な夢はありませんが、あちこちのなりたい自分がいます。この手はまだつかまないけれど、描いた筆のなかから1つの筆を抜け出して、必ずつかまえようとする自分を表現しています。完全に手を握っているのではなく少しゆるめに握っています。どちらかこの作品のエロです。また、あえて巨きいのそまだ何色にも染みていない自分を表現するためです。

私と美術

B 級II 姓 氏名

僕がこの美術の授業を通して三年間学んできただことは、自分で大きく成長させてくれたと思う。なぜなら僕は最初のころ美術に全く興味が無かったからだ。この中学校に入校してからは美術なんて小学校の图画工作の延長線上にあると思っていて、ところが中学校で学習する美術の授業は小学校で習う图画工作とは全く違っていた。例えば国工の時間は作ることがほとんどのに対して美術の時間は鑑賞という時間があり驚かされた。けれど自分の伝えたいことをどの材料や絵の具、構図で表現しようとするところは同じでも美術では普通しており大切なことが違う。だから入校したこの頃の自分にとって美術というものはとても新鮮なものであった。その美術を3年間学んでいる筆をしようとしている。最後に僕が思うことは、本当に3年間美術を学んできて良かったということです。



題名 思い出

B 用12番 氏名

僕は野球場に所属して、E. ニの左の手がいいE
オモシニヨリ。今でも思、出す。チームメイトと
ハイタッチをして二の手、バットを握りしめた二の手、
70-71を握めた二の手、そしてシャンケンをする時に
握った二の手。負けたときに受けた二の手。県大会で負けた時
ヘン著で涙をふいた二の手である。つまり二の
手は僕にとっての思い出なのである。この思いをこめて

团子をつくして指を畫した、
光と影をうまく利用して、
爪で立体感をだしてみた、

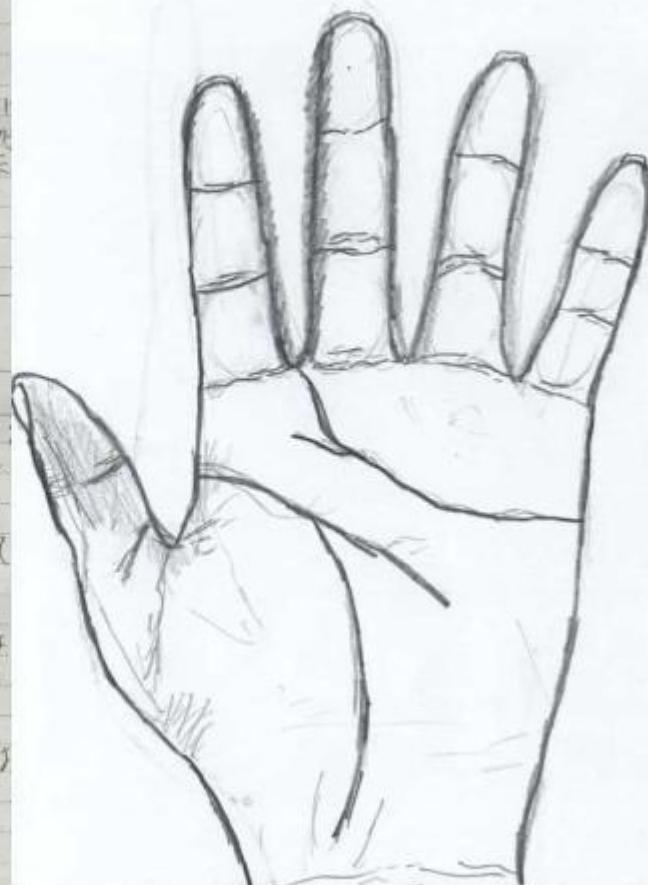
私と美術

B 用12番 氏名

有氧なくかざしてある筆をXで、美術が辛でいい
を表現の仕方。工夫がつかれてるところを説明する
とが少しきれいな表現になら感じている。
変化したことといえば、美術に対する想いが変わ
る手から美術が苦手嫌いといつて偏見をなくして
3時間やめたよと思う。

印象派が大変苦いえで今まで、アーティストた
くさん。自分の夢を叶えた後、みんな同じこと
で忙しく表現活動をしてしまう。詳しく書いてい
がらた。

二十から三十の美術。が自分にかけめぐら
ゆかで自分から見てか美術の存在意味について
絶対に忘れないでほしい。



題名「健闘する子」

Pm13年 氏名

自分で作成した接着体で手前いた。
つまは見てこのよだれして手前いたかの10cm
ほどで用ひておひこひこした工夫した。
一時生で黒い墨(黒)も使ってみた。
この作品に込めた思いは、少年は立派
もと大きめだけと、うのまく生きる人
2か人はっていこうと思えてこの手前おも
とにしました。

私と美術

Pm13年 氏名

弓もてたか根元は木を手前くみがでた
下すたつ。しかし、技法を習ふといふと
また、平面で木を手前り、アーチで木を手前して
少しずつ身体のへなでます。
例えども人はどの木は美しいと思うか?Eはいはんた
實際の木はねじれたりして、こうすれば、きれいではない
まあねは美しい見え?かど?い3い?がい?か
わざ。

僕はひとと美術とは、どういひかねば
上れ?Eの木と見る。中空三体間で
学んだことを大いに使えてみたい。



題名	未来の夢	B組14番	氏名
<p>私が大きくなったら孫子を育む。将来自分の夢を叶める ために何をやっていくか、見てこられて嬉しい。下さりしなやかで おしゃべり上手でうれしかった。</p>			
<p>私と美術</p>			
<p>B組14番 氏名</p>			
<p>私は1年生の頃 絵を描くことを少し上手くもやっていた。 2年生でヨリモロモモチヤウ(?)を始めたでも 3年間 順手で美術の勉強をして見て貰って くれる。絵は自分の思ひしたことなどをそのまま表現する のがいいんだ」ということだ。絵や作品はその人の感じで 描いて、備忘として感じてはいけないものであつて かう。そういうことを思いながらスケッチをしていく。 うまい絵(?)「やめた手」(手 番号の裏)といふ は大きくて優しい手にはじめてして物を形 はじめることで最も興味深い覺得だ。 大きな手でこの手が自分の手にかかればいいな というかと思う。これが自分の手へ似合っていく おもしろい手と思ふ。大きめの手で大きめの手を絵にして 而れなりして表現できたらいいなと思ふ。</p>			



2009年2月16日
午前11時頃

B用 15回 凡常

⑦工夫したこと

- 一年生のときに学習した「筆圧のコントロール」を使って立体感を出すようにしました。
- 絵の中の手と自分の手の大ヨウケイ形をできるだけ同じになりました。

⑧入ったおもい

- これから21世紀へ進んでいく人生の中で自分の手はどんな変化があるかと思います。外見も内面も。
だからこの作品は今自分が見てほしい手を自分の気持ちでその手を絵に描きました。

私と美術

B用 15回 凡常

僕が美術をやめて得たものはたくさんあります。
例えは、美術館に行くのが退屈でなくなりました。
色彩や製品の色の配置で何かに取り入れた相いが
わからなくなったりとか、
自分の気持ちを正確に絵で表現できなくなった
ことがあります。

僕が見ている世界は小学6年のときと
今とでは大たく違います。この強烈な
色彩方に大く敬意に感じるようになりました。

楽しんでいます。



題名「指のさす方向に」B 16. 順 広名

指をさす方向に前を向いて車へすぐ進もう
という思いを込めた。また車。よくのびた
ひとさし指のように、人々と自信を持こう
という思いも込めた。
制作とは、「百姓の道」をたどるまでは物語
がいい感じで描かん算はよめなかつて形や下三
と決めた。隣着をつけた。濃いシワをかいたり
筋目立たせたり薄い青いシワを描き動かしていざなに
合わせてかかってみた。

私と美術

B 16. 順 広名

美術の壁ひじを直して、美術は奥深いと
思った。アーティスト、色は数限なくあり、自分
の心情や物の特徴をしっかりとでも傳欣
いて、そこを如きこむことができた。
絵を描いたり、物を作ったりすると結構前に下書き
したりせざるを得ない。構想をねって、今けていくように
変化した。
自分たちの生活に使つるのは左で美術家と
関係している。自分の周りを見るとデザイン、色彩
が失されてしまうのがたくさん見つかる。
美術は私たちの生活の中でもっと重視されていい。
こじに身がつくった。



題名「夢に向て

B組 17番 氏名

この絵は夢を自分の手でつかもうとしている青会です。この作品にこめた思いは将来の夢のために高校・大学で学び、将来の夢が叶うことをいいなあと思えるように。今がいかんばくたいといふ思いをこめました。

私と美術

B組 19番 氏名

私と美術の関係は2通りあります。

1つ目が小さい頃から絵をかくのが好きで、いまな時はキャラクターの絵をかいています。今もキャラクターの絵を引き続けています。そして分っていくうちに私の元気を元気にしてくれるのです。私と美術との関係はそこにあると思います。

2つ目は美術の授業を通して前の自分よりも発想が豊かになってきたと思います。小学生・中学生のときは発想・構想が少なかったけど2・3年生になるとたくさん発想・構想がうなぐたきた感じたからです。そのことにも私と美術との関係がある。そしてこれからも私と美術との関係をたくさん作りたいです。



題名「クリーンピース」	B組 18歳 氏名
世界平和をこの絵の中に込めてあります。動物代表(鳥)、自然代表「クリーンピース」、動物平和、自然平和、2つ合あて世界平和。2022年。	
動物界と「ピース」ができるは人間だけだし自然界で「ピース」ができる。	
飛行機で話す「クリーンピース」です。	



題名 未来

日付 19番 氏名

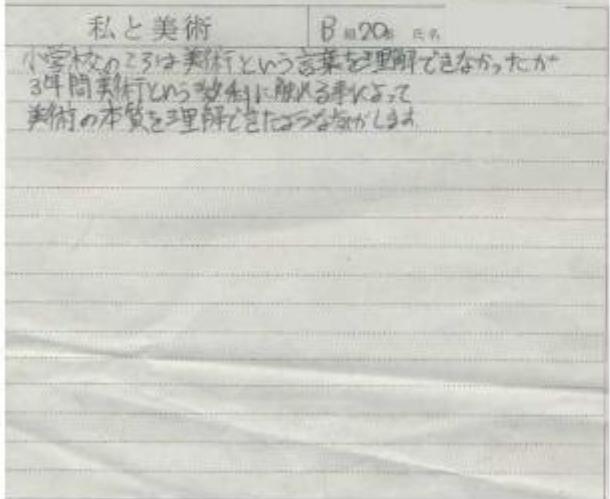
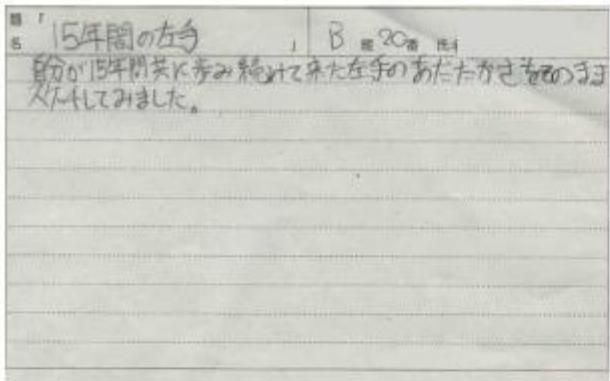
15歳とけ。自己と3歳で違うと思つ。
だからなごべく一本の線で書いた。少し
ために力強く見えるようにかいだ。
また、陰影は手とやりとではなく
く、きりするよつつけた。
「力強く」や「ぐるぎる」とかいたのは
自分でしゃがうるといふこともある
が、未来の人にへばれ。第一段かい
て初めの一歩を「力強く」踏んでいい
スタートをソサへいという気持ちも
入っている。

私と美術

日付 19番 氏名

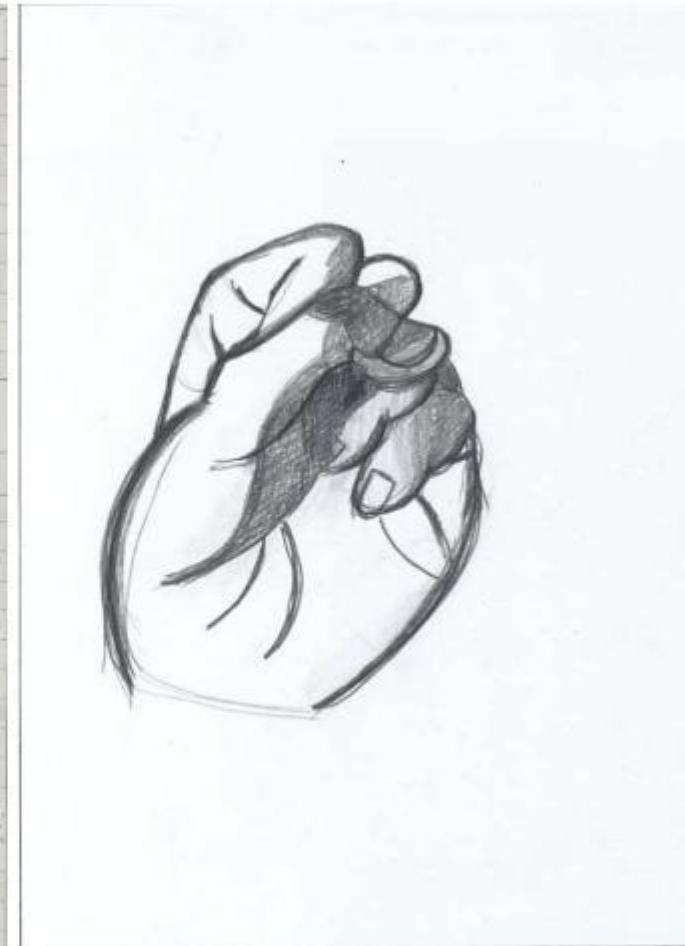
美術だけ 英語 数字 国語 理科 社会
ちがって、字がまろではなく、感じのもの
にと思つ。だから美術だけは正確な答
えなどないと思つ。
色彩のところがちがつたり、色が
明るくなったり暗くなったりした
につけ、感じ方が変わるもののが不思議
だ。これを学習するまでは、明るい
色は良いイメージ、暗い色は悪い
イメージがあつた。でも今は明るい
色も美味しいイメージがある、たゞ
暗い色にはおちついたイメージがある、たゞ
してどちらにもオーラーがあるのを知
た。これからは、色を上手に使って
いきたい。





題名	夢をつかむ
B用	2番 正名
小さな夢から大きな夢をつかむためには 「努力」が必要だ。	
どんな「努力」にもムダはない。 小さなことから、真面目に取り組めば 必ず夢をつかむことができました。	
色の濃淡をしかりつけたり消したりして。 色をつけずに黒一色で描いて。	

私と美術	B用
	2番 正名
私は中学生(にな)てから 美術と向き合うようにな(な)った 思う。3年間の学習の中で、単に鑑賞したり、制作したり するだけでなく、自分の思いや作品に込められた想いを 作品に反映し、感じと力を身に付けることが できま す(う)になりました。	
人と同じではない、自分だけの 想いや 美しさを 美術は 大きく写し出してくれる もので、それが同時に に「たくさんの 作品を 鑑賞すること」、自分の(に)も 豊かになります。他の教科では することはできない ことを学べる ものですと、私は思つ。	
高校生(にな)ても、(中で)3年間 学んだこと、感じたこと 身に付けてることを生かして、美術と向き合っていける よ(う)にしたい。	



題名 高く、高く

B級22番 氏名

中学生→高校生という、未知なる世界へはばたき
していく。何かを拒むために、手を高く上に
のはしている。新しい世界への希望と不安という
矛盾し相反する気持ちが、手の陰影をつけること
によって、あらわした。あえて手の甲にして、外へ
遠くのはしているようにした。

私と美術

B級22番 氏名

美術の習慣によて自分の世界が広がって思う
一つ一つの作品と直面見れるようになり、美術
という世界の奥深さや多様性を知った。また、
美術というものは日常にもあふれています。私たちの
心の豊かさにもつながっている。つまり、私の毎日
の背景には必ず美術が存在しているのだ。
特に「振りづらわ」は、戸時代から抜け出でて今
もなお受け継がれており、「づらわ」というあたり
で物でも、芸術との歴史がある人になると改め
て感じた。またその後に「ゆめしまこ」の作成を
する上で、和洋折衷の通達性を考えた時は、新しい
物をつくり出す上で、先人の知恵は不可欠である
ことに気づいた。

これから的人生においても、中学校で習った事を土台と
して常に新しい物を創造していくたい。



題名 決意、山中 1 B 用23番 氏名

二年から新しく出来て前にして、心地がいいです。機会を
年にわざ入山で、山へ出ました。
大きめの落葉が散らばって、ちょっとおもろいです。

私と美術

B 用23番 氏名

私は、絵を描くのが好きでした。得意なのは、山や木、花や草、雲など、美術の学んで見る物の表現方法や、自分の感情などを絵に書き出す方法であります。何を作ったか
聞いてたりすると、「好きなだけです」と答えていました。

今、絵画は、まだ全くないですが、他の絵画を観て、その
技術を学んでいます。また、山や木、花や草、雲などを、
自分で描いて、絵を楽しむように、これからも色々な
絵画を楽しみたいと思います。



題「仲間」

B組2年番 氏名

この3年間で仲間との絆がより深まつたと感じます。部活動や運動会、日々の学校生活で仲間と共に頑張り、お互いを高めあうことができました。仲間について語るときに挙げられたものがたくさんあります。今の自分が多いです。だからこそ、この仲間はとても大切に存在します。この作品は絆が深く、瞬間に表されています。明るくあたたかくイメージです。ついで表現するために手があり、明るい色で表現してみました。コンテスト優秀賞です。

私と美術

B組2年番 氏名

最初は自分が表したいものの雰囲気と色のイメージを合わせようと、うこごとに絵を描いていました。でも、ドリッテングやマーリングなどの表現技法やコントラストやグラデーションなど表現方法を学んだり、他の人の作品を鑑賞したりするうちに、自分が表したいものがくには、自分の自己、自分の表現技法、自分の表現方法で、かっこよく大切な思い出が、私が描いたと感じました。鑑賞してみると、二人の写真などではなく、おもいだし、おもてなし、和やかな笑顔がたくさん描かれており、おもしろかったです。

また、三体とつくさんは平面でかわいいもぐらに個性がいかされたり、卓レゲートです。この3年間で美術で仲間を理解を深めたり、そのエッセンスを、というところまでできたりしました。現実を追って、美術は、限られたものの考え方やから立場を変じてしまうことがあります。数々の時間、二ヶ月で学んでいたけれど、自分らしい、「やめたまご」となりたいです。



題名

決意

B組25番 氏名

今ぐらいの時期は、受験生にとって、毎日忙しくしたり、緊張したりと、大変な時期です。

自分の進むべき道はどれなのかな。自分はどこに行きたいのか。何度も迷いました。それは、誰でも同じことだと思います。自分の将来は自分で決め、その道に絶対道をひらくことを同じでしてよ。

失敗したりつまらないをしてきた時に近づく決意は、瞬間のことを思い出して、自分の心を奮い立たせよう。

私と美術

B組25番 氏名

私にとって美術とは、絵画・工作の作業を通じて、そして、作品の鑑賞・使用を通して、その作品の良さや苦難をたくさんの人に伝えたいからじゃ。作品そのものの意味などを探し取る。そんな「芸術」の一部だと思ってます。

愛しいこともし、くり味わうことあります。感情表現も一つのようになります。

3年間、美術で学んできたことは、様々な視点から、美術でどうしていいました。

立体の作り方や最適な色を絵にすることなど、様々な表現の方法を学びました。



名	希望	B 級26番 氏名
---	----	-----------

この手は、もうすぐ卒業をして新しい学校や道にいくので、中学生の今までの自分とはまた少し違う自分になるための目標をもつて、元気でいこうとする希望ともなっています。手の中にあらものが希望で目に見えて形はないけれど、手の中の希望の形をかいてみました。
指のうごきが複雑で、あや影が描しかたです。

私と美術	B級26番 氏名
------	----------

3年間、美術のたくさんことを学んできました。その中に線の技法や自分の感情などいろいろありました。イメージで新た色を入れられてるなどといふことを聞いて、いまは、これらることはすべて誰か他の人のものと似てはなくて、自分でさめていたんだと思います。自分でイメージを決めて自分で完成させていく作業の中で自分の中の創造力、想像力などがどんどん育くなっていったと思います。
だから、私にとって美術は、想像、創造力をより保全させてくから存在だと思っています。
これがおとし美術の関係です。



題名 屋に願いを

B組27番 氏名

胸の中に書いて、色で書こうと思った。楽しいことも、嬉しいことも、悲しいことも、困ったことを手を通して表現したいと思った。5つの手を描いて、その中に、墨淡とけいつつ、何色も何色を色を用ひた。そして、墨の明るい部分と暗い部分にぬりわけ、立体感をだす。立体感だけではなく、明と暗に差し合はせた思い出を苦かしく思い出を込めて。墨の力で、思い出も苦かしく思い出を全て含めて。それで初めて私の胸中の中学校生活が成り立つと思い、手話を描いた。そして、これから日本への想いを少し、星型をつくった。

私と美術

り組の森 氏名

1年間、美術の時間を使って、色々な技術を学び、使おうとした。1年間のワーカー様を見直して何か、学習前と後では、考え方や力がかなり違っていたし、特にスクールワークでは、見た目の形が全然違つた。今回のワーカーも手で描かせた。今度は腕を直つて描き、90度、90度が一番印象に残っている最初に描いた手には、いつもした回を歩む3つの手に「いつもおもしろい」と思っているので、1手を見てわかる。私と手紙との関係というのを考えて、手をかいて、この美術は、私を磨いてくれるもの、美しいものへ導いてくれるものだと思つた。手のスクールワークを見て、強くこれを教つた。手のスクールワークをして以て、1年間やってきて、学習に終わつても、あらゆることと繋がる。これからも、美術は新しいものがある気がされるといふと感じた。



題名 小さな手

1. お絵かきの氏名

私の手は、比較にしてほんとでも小さいと言われます。今回、私は下記の形をつけ、手を描きました。手は、手の骨の長い意味は長いのですが、どうせなら今まさに描いたこの手の手の骨の長い意味をもつた。また、手の骨はだらりと伸びて、手の骨は少し大きかったです。

私と美術

お絵かきの氏名

私は3年間、美術教室で絵を描いてきました。

少し、手たまは、みんなで、手を練習したりして、上達するところです。

私は毎日、手をよく練習したりするが、不思議なことに、手はアート制作がやまとよく出来ます。



年
令 15才の手

B種29番 氏名

みて、シニアルに暮ました。今、15才の私ちが握り手はまだピント
子供らしさを残しながらも大人の手へなっています。その過程である
15才は一瞬など普通の横四にしてみました。

私と美術

B種29番 氏名

3年間、中学校で美術活動が盛ったこと、考えたこと、成長のキッカケとな
ったことはたくさんある。ただそれをぬるのではなく、これまでのことを新しい立
場から見たいイメージや感情を込めてまとめる。一生懸命に
あれ思ひでを語りながら作品を作りました。人に自分の心の力を伝
えることの難しさ・そして、人の表現した作品から読み取るという楽しさを改め
て感じました。また、絵画なりに上がりや高いレベルでアートを目指すのではなく、
私だけにしかわからない感覚的な作品を作ることは簡単に思え、それができた。
今まで見た作品や、友達の制作している中、自分自身の中に存在しているに重い
ない適度観念が浮遊として「自分らしい」作品が出来上がった。たとえあた
と振り切ってみると見える。美術のつねには、永遠自身の中にある思考を平面
としてには立体的に表現していくことにより心の豊さを育てていくものではない
かと考える。美術を學習する上に、より日本は、おもろくなれた友達の考え方を
少しは共有すること可能かもしないし、それによって幅広い視野に立つこと、多
目的に物事を見ることができるようになれると思う。



題名	紳
	B 級 30番 氏名
16歳の今、私はいろんな人に支えられてるとあらためて実感しました。つらいこと、悲しいことがあってときには励ましてくれる、嬉しいことがあるときには一緒に喜んでくれる友達や家族、先生は私にとってかけがえのない人です。そんな人たちが自分のまわりにいてくれるからこそ成長できたんだと思います。そんな「紳」「つながり」を大切にしていきたいという思いをこの作品にこめました。	
私と美術	B 級 30番 氏名
美術の学びを通して普段何げなく見ていた絵やスクulptureの色や形、技法を使って何を表したか、たのめたりともを考えるようになりました。またいろんな学習で作品を作っていくなかで自分を上手く表現できるようになります。私が一番印象に残っているのは「ゆめたまご」です。中学校生活の最後作、だからかもしれないが「ゆめたまご」を制作するとときは今まででいちばん楽しく自分の考えたことを表現することができました。美術は私にとって自分の世界を広げられるものになります。	



題名 相い

B級3年 氏名

交差する「想い」を意識して、両手を合わせて指を交差させた。

今迄作った絵は、たことや愛しき、たこと、うれしき、たことや辛いこと。

正直持の想いを交差させ、三年間を表現した。

アドバイスは、ミニトリーじゃなくマニトリーでしたこと。

3、5ヶ月、5ヶ月の間に迷ひではなく、あれこれ左右非対称にして、絵の想いとは別に、もう高い七音頭身を追求しました。

私と美術

B級3年 氏名

中学校に入って、「絵」ではなく「美術」ときかえて描りなうことました。

年のスクーラや国際のエクレクティックの方も書いたし、陰陽つけ方やレトリニグトレーニングでも書いた。

美術は、字はなければ、一生関わることかなかったかもしれない。

これまで絵をなすことを学ぶことをが出来た
おかげで、セーフからハカラと諂ひで世界に
前より興味が持てた。

しかし、絵はそれでは、じつは人生の描けるんじゃないかなと感じた。

何か今理でちょっと待って、進んで上手
歩めたら、私は美術とは無縁の世界へ、さあ
行くだ。

けれど、この三年間で、学んだことは、個人的なものよりも
何年いかせらる良くなつたと思う。



題「白と黒」

B級32番 氏名

色のバランスを考えました。全体的に白いイメージの手を描いたけど、所々に黒い影を入れてなるべく立体的に見えるようにしました。またやわらかいイメージにしたかったので手の形をねじるのではなく少し曲げて感じでやわらかさを表現しました。

全体的に白くてやわらかいイメージがありませんが黒いかけの所は、とても暗くて白と黒の対比のイメージを強くするために工夫しました。

私と美術

B級32番 氏名

3年間の美術で、物を色々な面から取り入れて、その色どけのように表現したのが、何で自分達に伝えようとしたいのかを、自分なりに感じてるとかが身に付いたと思います。また、物を作るときどうやら、どう簡単には伝わるのかを考えながら作業で生じた感覚です。



題「握りしめた大切なもの」

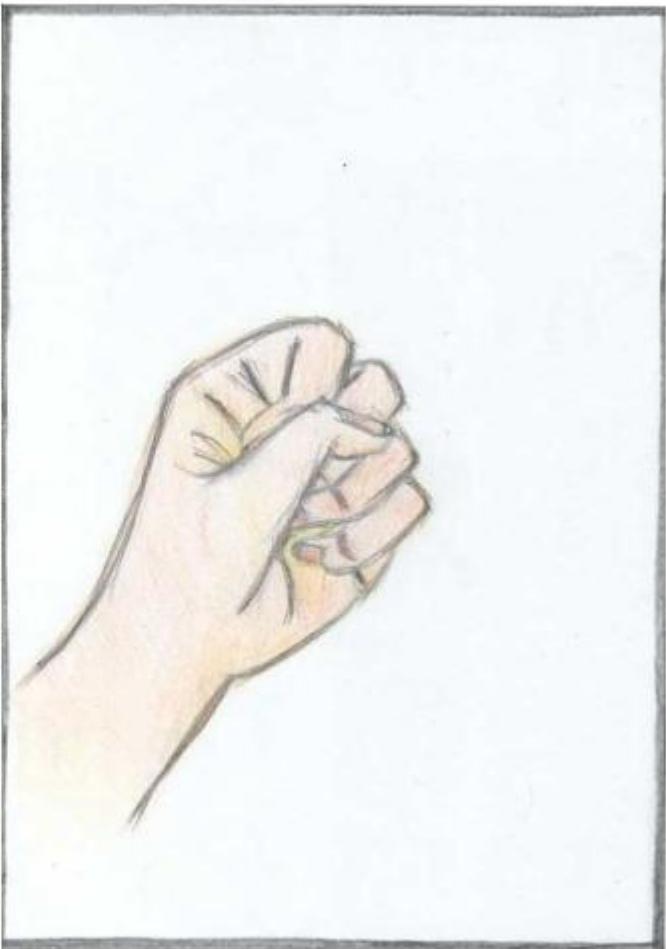
6年3月 曙 真也

大切なものを握りしめていた様子をイメージして書きました。握りしめていた手の中にあきらめの光は竹翁の時を学んだことや見たこと、手筋をしてことと表現しました。私は中3の1学期で2回目のことを学んだので、そこで、2回目してからその想いを記しました。回の裏に村(むら)の風景(ふうけい)を眺めまで出来ることで出来ないことに気が附くなど、手の運び(うみてき)はそれが内視(うちし)です。そこは同時に私が草した大切なもの。これまで一生大切にしていましたが、これを書き写してみました。

私と美術

6年3月 曙 真也

今日は美術(びじゅつ)をします。今日はアートです。作品(ひんぶん)を作ることが好きになりました。なぜかというと自分の好きな絵(え)などを描(か)いてみたいのです。印象派(げんじょうはい)はもうわざりです。印象派(げんじょうはい)を始めたのは活動(かつどう)として「このじ」(絵画)を描(か)しこうですが、すぐ描(か)せられたらいいです。途中(とちゆう)で手を離(はな)すから、でもうとくらうと手離(はな)してしまいます。今日は夏(なつ)がもう来(き)ていて、今(いま)は(お)う思(おも)ひます。また、うさぎ(うさぎ)の時(とき)を思い出(おも)します。



第1

8 マイハンドーごからう手筋手筋 B出34回 先生

「手筋の今の手を そのまゝ 実写的に描きたいと思
つ。」の色は使わず、えんぴつで、手筋・まげこ
きのもの。あえてサミをせじ、サトロ。両手を重ねて
いふという形にはほりこむ。質感を出すために、濃淡に差
を付けまじこ。えんぴつでぬぐくあとに引いて、アーチーと
たくエラにして消すと立体感がでました。手にある線を
丁寧べく正確に描こうとしました。遠くから見ると陰が
よく見えるようにしてやがて、輪郭を濃いめに描き、手
を見えてよくなりました。1年生の時に得た「グンゴ描法」
をつかい、また詳しくみんなおうに「なりました。

私と美術

B出34回 先生

「色の濃淡」の技術をつけて手筋は立体制的に、さらに質感
をくわらせる。絵が描けたよくなつたと思います。陰の部
分と阳の部分とでストップするのが、はじかってます。
3年間で一番興味深かったのは、秦川の「うわの手筋」です。
美しい透かしがあるという、頂点に達したな作品づくりは、
文字と地の色のくみあわせや配置など、工夫と技が
多く、自分の個性が作品に反映できたと思います。
今現在中のやめたまごくは 和紙のうわのあたたけ
をとどかんじてて、部屋に作品を引き入れさせていたり。
3年間の美術の時間では、描く体裁で、手筋、手筋
の特徴を生かす作品づくりや構成、音楽
と色のイメージの関連について、多くのことを学びて
きました。実践的に描くことは得意ではない
けれども、描くこと、創ることの楽しさを感じること
ができました。



題名	heart♡	B組 35番 水井
<p>私はこの15年間でたくさんの人と出会いました。</p> <p>そしてたくさんの人々から愛をもらいました。自分もたくさんの人に愛を与えました。この手はそういう愛の愛の愛の流れを表現しています。</p> <p>これからも、いろいろな人のコミュニケーションを大切にして、</p> <p>愛のあふれた、あなたがい生活を送りたいと思います。</p>		



題「夢に向かて」

B 級 35番 氏名

夢を指し、成功をイメージしながら努力することを奨励させて
いただきました。自分の中の夢はまだ見えてないけど、その先には
光があると思います。

制作としていました。明暗をはじまりさせることです。

立体感をたためにはなかなかないので、暗いところと明るいところ
違いをつけようこうにしました。

また、輪郭と濃くかくしてしました。濃く83%で、自分の
いいや興味のある強さを表しました。

私と美術

B 級 36番 氏名

3年間の美術の授業を通して、自分の長いや感情を
作品に込めてつくることができて嬉しいです。

それでは、1年3年で学習が“あつた”からです。開口部を
閉じたりすることや、音楽を聞いて考え方などを
基にして自分で作品を作りました”手”が好きです。

私がこれまで作成したはとても身近なものに興味です。作品をつくる
ときに丁寧で丁寧、普段の生活の中でもデザインや色、道具など
すべてに関係しているので、なってはならないのです。

これからは、これからはますます「美術」をもっと進めて、
自分の個性とともに表現できるようになりたいです。



題名 頼い

B用37番 氏名

この作品に込めて思ひは、これから自分の人生に対しての「頼い」です。だから手の爪とドスモ頼うべきといふる時に使うドスモにします。これからいろんな困難とのあるところし、今はそれを経験せし心酉てして合格していることや、困難との戦えをどう頼うかのこの手をがまよつて。塗料材料はアクリル絵の具とすれども。かえて水と筆を使はばへどして、手を手で表現するのだけれど難しかつてすが、ペンタゴンの手をあくべり、自分で手をやめて黄色っぽい所や赤い所を区別したりなどの工夫をしました。

私と美術

B用37番 氏名

私は美術を学んでて、重ね歴112年とてもいい表現技法だと感じます。重ね歴は、重ねた、け叶がてて、強調されると思います。あと、人の作品に目を向けるといふことを習いました。今まだあまり友達の作品を見て自分と比較したり、友達の作品のいい所とか自分とこに向いてないと感じたりなど、この3年間で人の作品の良さに気がつくことができました。

印象深かった学習の思い出は、うわづらです。

和紙に絵をひくのは初めてで、二つに分けておいた所は、うすすきでも見えにくくて3回目の地点でみんなが難しかったです。あと、アントリーやアンストリーの図を見て、アンストリーの図の方が安定感がありますと、おもしろかったです。それからも、「こうな絵をひいて」として、もう1度美術性が高まることになりましたといいます。



題名「未来を切り開け」 B 級 第二回 氏名

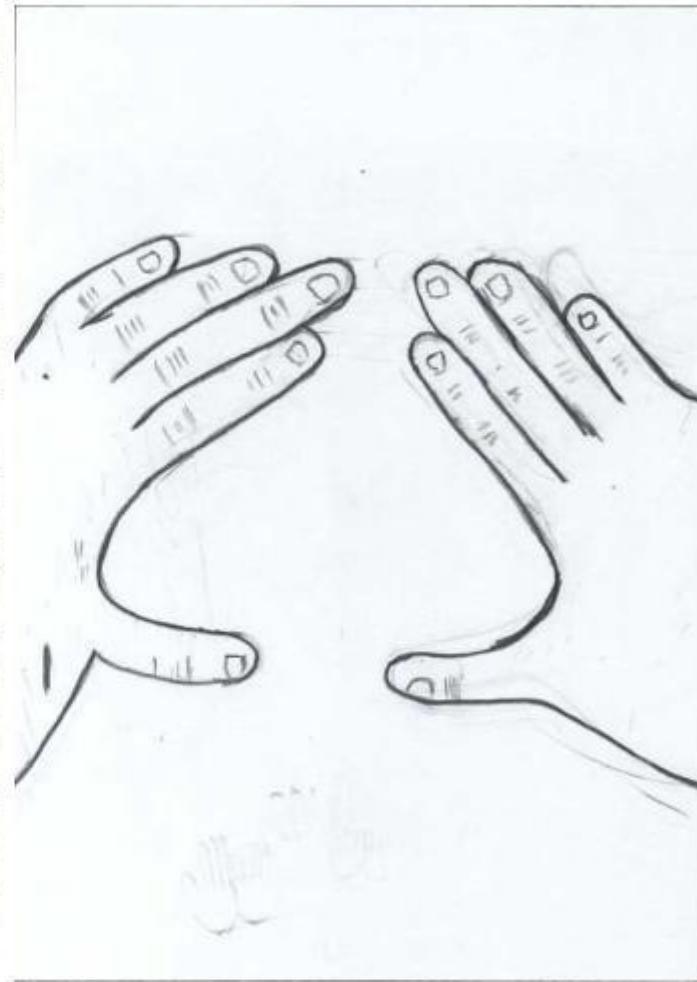
私は将来の夢があります。それは、大好きな中国語をいかした仕事にいたいと想っています。今は、台湾で添乗員の仕事にいたいと想っています。私は、人のお世話をするのが大好きだし、旅をしたりするのもとても好きです。なので、この手は、夢を想像しているよろ全手だし、何かをつかむところとしている手です。

「私と美術」 B 級 第二回

1年生のころは、美術とはどういうもので、どんなことをするのかと思っていました。2年生が作った作品で一番いい残っていきました。自分で好きな文字を木に書いて、それを切ってくつかっても壊しました。

2年生では、スケッチを通して、遠近感をもうや 左右対象などを学びました。心に残っている作品は、自分の名前を紙で作ってみたり、たり、おと/or 未来の自分の部屋というのをしたことがありました。

3年生では、グラデーションや、リズム、バランス、シンメトリー、幾何などと学びました。心に残っている作品はオリジナルをうつして作り、作り、合作していった夢たまごなどしか残していません。なので、高校に行こうとも、3年間してきて、ことを忘げずにまた、美術の授業で使っていただきたいです。



題名 萬

B 相39番 氏名

15歳、21歳の時期は1313番みであります。それで163の
黒色で表現しています。でも萬とか明るいものが、その中にはあつ?
手を白くしちゃいます。

萬が周りを照らしている感じにして、たんぱん中心に近づくほど
明るくなるよう、まず灰色で中心をめ、その上から濃い色を
重ねていきました。

私と美術

B 相39番 氏名

印象深い学習といえば、美術です。今製作中ということを
おさかましませんが、3年内学んだ美術の技をも
使っようにさせていためだと感じますからです。

例えは和紙の使用、特徴、筆の使い方、など、印を
意識させる上でとても使うことになります。

この物にはうちわ作りも印象深いであります。たしか一度、
名前を作ったと思うのですが、カーラーの使用など似て
いるところもありました。

絵を描くことが好きなので、高木に描いてもらったり
頑張って美術を好きになっています。



題「あくち
名 明日のために。」

B級40号 兵介

この作品は、大きくて分けて光と影について描きました。その表現したい内容は2つあります。1つめは光と影は相対的なものだということです。光がないければ影は出来ないし、影がないければ光や物が存在しません。その表現を出すために、影から滲み出したり、光と影を書かず、闇を開けたりして工夫をしました。そしてもう1つは、影の部分は「今日」というイメージ、光の部分は「明日」というイメージで描いたことです。私は、できるだけ必要のないものはそこまでしていない、平凡な自分、平凡の自分を今日もちゃんと常に実感して行動しているのです。今日との影はし、がりと自分についてあげても明日の光のために、自分の不要でないものは違うことなく積んで進んでいかたいという想いをこの作品に込めて描きました。

私と美術

B級40号 兵介

私は昔から絵を描くことが好きです。3年間の藝術の修習を通して改めて感じたと共に、自分の想いや自分自身を表現するにあたって自分を追求してきたのです。良い経験になりました。また、印象派から写實の思い出は、やはり何かにつづく、という時が一番樂い一番興味深いと思います。つづいている最もでも新しいアイデアがどんどん湧いてきて、そのアイデアを取り入れながら作品をつくりあげていくのがとても楽しかったです。そして自分自身をもつくりあげていくのがでてるので、本当に美術という藝術は素晴らしい良い経験が出来るなあと思いました。

